

ちなみに、

勘里絵利奈です。10・11月はいろんな団体さんと一緒に、喜界島、与論島、甌島に行ってきました。沖永良部島より面積も人口も少ないけれど、それぞれ特色を持っている素敵な島。それでも、私が「ただいま」と言いたくなるのは、沖永良部島です。

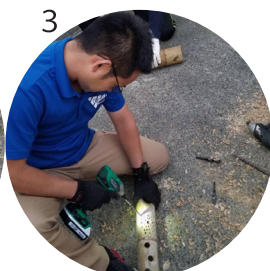


今、知名町役場駐車場に隣接する「稲水公園」が、ライトアップされているのを知っていますか？ 毎年、商工会青年部さんが島のクリスマスを盛り上げるために商店街の中で行っていたイルミネーションを、今年は稲水公園で灯してくれています。十一月二十五日に行われた点灯式には、サンタさんとちなボーも駆けつけました。

「まちなか」を元気にしようと、役場や商工会、ホテル、バス企業団、学校関係者、生活研究グループ、農家さん、近隣住民の方と一緒に進めている「マチヘソ（町のおへそ＝中心地）プロジェクト」の中で、町のメインの交差点にあり、人通りも交通量も多く、フローラルホテルから徒歩圏内で、商店街の入り口にもなっている、そんな町の中心地「稲水公園」をもっと大切にしたいというアイデアが生まれ、商工会青年部さんが、真っ先に形にしてくれました。

光を発しているのは竹の灯籠で、商工会さんの手作りで。この竹は、新しい竹を伐採したのではなく、お正月の門松用に使用しゴミとして捨ててしまう予定だったものを花屋さんからいただき、再利用しています。一回だけの利用で役目を終えてしまわずだった竹が、今、新しい役目を持って光を放ってくれています。島のゴミを減らせて、新しい価値をもってみんなを楽しませてくれています。商工会青年部の皆さま、本当に、ありがとうございます。子どもたちが絵を描いた行灯風灯籠も混じっているのですが、皆さまでひ見に来てくださいね。（ライトアップされているのは夜なので、寒くなってきたけど、是非夜に！）

ちなみに、この原稿を書いている数日前に、第三回目となるマチヘソミーティングがありました。稲水公園を一年中訪れる人を楽しませる場所にするにはどうしたら良いか、はみやま神社までの道のりを効果的に見せるには、みんなに大切にもらうためには参加型にしたい、等々。これらのアイデアを来年度から、少しずつ実行に移していきたいと思います。それでは、少し早いですが、皆さん、良いお年をお迎えくださいませ。



1_川の清掃も商工会さんが。2_門松として役目を終えた竹は、ゴミとして廃棄されているようです。3_大きさを整え、穴をあける。4_子ども達が絵を描いた行灯風もありです。(雨で少し崩れてしまっているのが残念) 5_ちなボー大人気!!